

南「山太郎ガニ」守ろう 日 23.8.30 広渡川漁協が稚ガニ放流

日南広渡川漁協（戸田博組
会長）は25日、日南市内の広
渡川や黒荷田川などでモクス
ガニの稚ガニ約400キを放
流した。

組合員が手分けして市内10
カ所の川に一斉に放流した。
このうち、同漁協の太田祐充
理事（75）は同市北郷町の猪八
重川上流で放流。稚ガニは元
気に動き回り、すぐに方々に
散っていった。今回放流した
のは宮崎市内などで捕れた天

然もので、稚ガニの甲幅は4
センチほど。捕獲できるサイズの
約10センチになるまで3、4年か
かるという。

モクスガニは別名で山太郎
ガニと呼ばれ、県南の郷土料
理「カニまき汁」の材料として
重宝される。もともと日南市
内の川には多くのモクスガニ
が生息していたが、近年は乱
獲する密漁が後を絶たず収穫
量は減少傾向にあるという。
放流は、資源保護を目的に

猪八重川上流でモクスガニを放流する太田理事



同漁協が毎年実施。ほかに対
策として、漁期（8～12月）
に広渡川で定期パトロールを
している。太田理事は「地域
の資源を守ろうと、多くの人
が活動に携わっている。ルー

ルを守って捕ってほしくな
話していた。